

一般社団法人 茨城県建築士会

令和8年度 第1回 研修委員会 次第

と き 令和8年8月27日(木) 午後3:00～

ところ 水戸市笠原町 978-26 『茨城県市町村会館』 2階 中会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 委員長あいさつ

4 議 題

1) 会員増強運動について(各自報告)

2) 令和8年度事業計画について

3) 定期講習(9/25)について

4) その他

5 その他

6 閉 会

令和8年度 建築士会の主な事業日程(月別)

☆ 主な行事予定については、様々な事情により予告なく変更する場合がございます

月	日時	曜日	事業名	会場
8	25	火	木造住宅耐震診断士養成講習会	県南生涯学習センター
	26	水	まちづくり委員会	青少年会館
	27	木	研修委員会	市町村会館
9	13	日	二級建築士「製図試験」	水戸市内
	25	金	定期講習	研修センター
	26	土	建設フェスタ	笠松運動公園
10	9月～10月		応急危険度判定士養成講習会	県庁9階講堂
	11	日	一級・木造建築士「製図試験」	水戸市内
	16	金	第68回全国大会「ぐんま大会」	群馬県 高崎芸術劇場
11	3	火	第33回 日帰り見学会	関東圏
	17	火	総務企画委員会	市町村会館
	26	木	理事会・支部長会	市町村会館
12	3	木	二級・木造建築士試験「製図試験の合格発表」	普及センター、建築士会
	17～18	木～金	建築士免許 一斉受付（二級・木造）	建築会館
	23	水	一級建築士試験「製図試験の合格発表」	普及センター、建築士会
1	14～15	木～金	建築士免許 一斉受付（一級/二級/木造）	建築会館
	22	金	第22回賀詞交歓会	ホテルレイクビュー水戸
	20～31	水～日	建築パトロール事業 19支部20地区35市町村52班	県内
2	24	水	知事指定講習「建築士会 技術講習会」	研修センター
	26	金	支部事務局会議	ウエストヒルズ水戸
3	16	火	総務企画委員会	市町村会館 中会議室
	25	木	理事会・支部長会	市町村会館 1階 講堂
	3月中		会員美術展	水戸市内
	4月～3月		監理技術者講習(オンライン講習のみ)	R8年～ オンデマンド 可
	5月～3月		既存住宅 状況調査 技術者講習(オンライン講習のみ)	R8年～ オンデマンド 可
※ 状況により、中止・延期・縮小開催、Web、・リモートや想定外の変更もございます。				

研修委員会

2026/8/12 10:03

研修委員会

令和 8 年度 事業計画・収支予算書 (案)

No. 1

事業計画	収 入	支 出	収支差額	算 定 基 礎	
1. 各種講習会・研修会 ・監理技術者講習(オンライン) ・環境・省エネ関連 ・宅地・県条例等	960,000	450,000	510,000	収入 会員 4,000円×60名×3回 720,000 非会員 8,000円×10名×3回 240,000	960,000
				支出 1. 講習会 15万 × 3回 = 450,000	450,000
2. 法定 定期講習 7/23(木)、9/25(金) (水戸会場× 2回) (研修センター)	1,030,000	316,000	714,000	収入 5,467円×80名 × 2回 ≒ 870,000 延べ 160名 見込み 会場借上代 8万×2回(普及センター支払い) 160,000	1,030,000
				支出 1. 会場借上代 8万×2回(普及センター支払い) 160,000 2. 通信費 通知文 会報誌へ同封×3回 0 3. 印刷費 通知文@20×1800名×1回 36,000 4. 講習管理員謝金 延べ10名 70,000 5. 講師・役員等昼食 1,000円×10人 10,000 6. 雑費 40,000	316,000
3. 知事指定講習会 「 建築士会 技術講習 」 水戸×1回 令和 9年 2月24日(水)	1,710,000	855,000	855,000	収入 会員 12,000×80名×1回 960,000 非会員 15,000×50名×1回 750,000	計 130名 1,710,000
				支出 講師謝礼旅費 2H×1回 30,000 1. 会場借上げ代 80,000×1回 80,000 2. テキスト代 @4,800×130部×1回 620,000 3. 講習資料コピー代 20,000 4. 通信費 通知文@110×400通 44,000 5. 講師・役員等昼食、雑費等 61,000	855,000
4. 既存住宅状況調査資格 新規 オンライン 更新 オンライン	350,000	56,000	294,000	収入 新規 6,930円×10名 × 1回 ≒ 70,000 更新 6,930円×40名 × 1回 ≒ 280,000	350,000
				支出 1. 会場借上代 5万×0回 0 2. 通信費 通知文 会報誌へ同封×2回 0 3. 印刷費 通知文@20×1800名×1回 36,000 4. 講師・講習管理員謝金 延べ2名 0 5. 講師・役員等昼食 1000×8人 0 6. スタッフ旅費 延べ5名 0 7. 雑費 20,000	56,000

研修委員会 2026/8/12 10:03

5. 建築パトロール委託費 (R07度見込 372.9万)	3,729,000	3,090,000	639,000	収入 茨城県委託費 3,729,000	3,729,000
				支出	
				1.支部交付金 1班2名で@29,100×52班×2回 3,026,000 振込手数料 64,000	3,090,000
6. 試験業務委託費 R07年度見込 346万 学科 7/5、7/26 製図 9/13、10/11	3,465,000	500,000	2,965,000	収入 普及センター委託費 3,465,000	3,465,000
				支出 1.試験・受付会場費、消耗品費。審査員費等 ★ 申込み受付 4/1～14 (ネット申込のみ)	500,000
合計	11,244,000	5,267,000	5,977,000		
前年度予算額	11,538,000	5,431,000	6,107,000		
対前年比	△ 294,000	△ 164,000	△ 130,000	※ 前年比 … 収支 △ 130,000 減	

2026 年度 建築士 定期講習日程 及び 講習会場等について

主催：登録講習機関（公財）建築技術教育普及センター（担当団体：（一社）茨城県建築士会）

1. 受講申し込み方法、受付・担当団体系内

受講申し込みは、原則として主催の普及センターのホームページから インターネットによる申し込みになります。
普及センターHP ⇒ <https://www.jaeic.or.jp/koshu/teiki/off-flow.html>

※ インターネットによる申し込みが困難な方については、普及センターより紙申込書を送付いたします。
ご希望の方は、普及センター（TEL：050－3645－2717）へお問い合わせください。

- (1)担 当 団 体 茨城県建築士会
〒310-0852 茨城県水戸市笠原町978－30 建築会館2階
029－305－0329
- (2)申 込 締 切 各会場とも講習日の約20日前まで（定員となり次第締め切りますので、ご注意ください。）
- (3)受講手数料 12,980 円（テキスト代・消費税含む）

2. 講習日及び講習会場案内、申込受付等

(1)講習日及び講習会場、定員

会場コード	講習日	講習会場名	募集定員	締切り
2A-01	7月23日(木)	茨城県建設技術研修センター	80名	7月3日(金)
2A-02	9月25日(金)	茨城県建設技術研修センター	80名	9月4日(金)

(2)講習会場案内

会場名：茨城県建設技術研修センター 3階 大ホール 住 所：水戸市青柳町 4193
※ 駐車場はございますが、駐車台数には限りがございます。 お車の方はお早めにお越し下さい。

(3)講習の時間割（時間割について、一部変更となる場合があります。）

項目	時間	内容
受付開始	9：00～	・講習会場への入場及びテキストの配布等
受講説明	9：25～ 9：30	・講習概要の説明、注意事項の説明
講 義	9：30～11：35	・建築物の建築に関する法令①（1. 最近の建築関係法令の動き） （休憩 5分含む）
休 憩	11：35～12：25	・・・・・・ 50 分 の 昼 食 休 憩 ・・・・・・
講 義	12：25～13：25 13：35～15：40	・建築物の建築に関する法令②（2. 建築基準法 3. 建築士法） ・・・・・・ 10 分 の 休 憩 ・・・・・・ ・設計及び工事監理に関する科目（休憩 5分含む）
修了 考査	一 級 建 築 士	・建築物の建築に関する法令に関する科目 ・設計及び工事監理に関する科目
	二 級 建 築 士	・建築物の建築に関する法令に関する科目 ・建築物（法3条に規定する建築物を除く）の設計 及び工事監理に関する科目
	木 造 建 築 士	・木造の建築物の建築に関する法令に関する科目 ・木造の建築物（法3条及び3条の2に規定する建築物を除く）の設計及び工事監理に関する科目

- ☆ HBの黒鉛筆かシャープペン、消しゴムを忘れずにご持参下さい。（修了考査で使用します）
- ☆ 受講票もお忘れなく。当日、受付にて受講票をご提示後に、講習テキストをお渡しします。
なお、修了考査において、講義で使用した講習テキストを参照が可能です。

建築士法第 22 条の 2 令和 8 年度 建築士「定期講習」

主催：登録講習機関（公財）建築技術教育普及センター

（担当団体：（一社）茨城県建築士会）

令和 8 年 9 月 2 5 日（金曜日）

★ 合格発表は、受講月の翌月末（10 月 30 日）に建築技術教育普及センターのホームページで発表となります

項目		時間	内容	
受付開始		9：00～	・講習会場への入場及びテキストの配布等	
受講説明		9：25～ 9：30	・講習概要の説明、注意事項の説明	
講義		9：30～11：35	・建築物の建築に関する法令①（1. 最近の建築関係法令の動き） （休憩 5 分含む）	
休憩		11：35～12：25	・・・・・・・・ 50 分の昼食休憩 ・・・・・・・・	
講義		12：25～13：25 13：30～15：35	・建築物の建築に関する法令②（2. 建築基準法 3. 建築士法） ・・・・・・・・ 5 分の休憩 ・・・・・・・・ ・設計及び工事監理に関する科目（休憩 5 分含む）	
修了 考查	一級 建築士	15：45～15：55 （注意事項説明） 15：55～16：55 （修了考查）	・建築物の建築に関する法令に関する科目 ・設計及び工事監理に関する科目	40 問 正誤方式
	二級 建築士		・建築物の建築に関する法令に関する科目 ・建築物（法 3 条に規定する建築物を除く）の設計 及び工事監理に関する科目	35 問 正誤方式
	木造 建築士		・木造の建築物の建築に関する法令に関する科目 ・木造の建築物（法 3 条及び 3 条の 2 に規定する建築物を除く）の設計及び工事監理に関する科目	30 問 正誤方式

☆ 修了考查は、HBの黒鉛筆か、または、黒のシャープペンで回答をお願いします。

また、修了考查においては、講義で使用了講習テキストを参照が可能です。

★ 合格発表は、受講月の翌月末（10 月 30 日）に建築技術教育普及センターのホームページで発表となります

令和8年度 新入会員【正・準会員 21名 + 賛助会員 4社】						
No	支部名	氏名	勤務先	紹介者	紹介者役職	備考
1	賛助会	(一社)茨城県建設業協会		柴 和伸	会長	関係団体
2	筑波	坂本 俊一	コンチネンタルホーム(株)	相澤 晴夫	副会長	社員
3	筑波	西村 拓也	コンチネンタルホーム(株)	相澤 晴夫	副会長	社員
4	筑波	春原 莉帆	コンチネンタルホーム(株)	相澤 晴夫	副会長	社員
5	県央	福本結城子	(有)高槻建築設計事務所	高槻 一雄	元副会長	所員
6	賛助会	(株)孝建		久保田吉文	常務理事	企業
7	筑波	石田 和子	(株)暖喜	松田 祐光	支部長	準会員
8	筑波	櫻井 顕司	(株)須藤設計	松田 祐光	支部長	所員
9	筑波	菱沼 大晃	(株)須藤設計	松田 祐光	支部長	所員
10	ひたちなか	岩田 隆之	(株)IWARC	川又 晴彦	支部長	所員
11	県央	田村 涼子	(株)安心確認検査機構	轡田 久恵	女性委員長	所員
12	県央	米川 潤也	鈴縫工業(株)	和田 淳一	会員委員会	所員
13	県央	清水 碩斗	清水建設(株)	清水 洋一	会員委員会	準会員
14	筑波	三輪 光夫	(株)若柳建築事務所	若柳 綾子	女性委員会	再入会
15	筑波	三井 健吾	(株)エム・スタイル	茂垣 直樹	情報・広報委員	所員
16	日立	白土 里子	(株)安心確認検査機構	石黒 洋子	総務委員会	所員
17	日立	大高 正裕	日立市役所	遠田 正樹	市役所の先輩	職員
18	鹿島	平山真理子	Re'plus建築設計事務所	安藤 秀浩	鹿島支部会員	所員
19	久慈	大内 裕貴	大木建設(株)	和田 昭一	元会員(上司)	所員
20	結城	高松 来海	小貫建設(株)	小貫 勝重	元支部長	所員
21	石岡	福島 典昭	(株)福島工務店	吉田 良一	元青年部長	所員
22	北相馬	山田 正敏	(株)コウキ建設	根本 博行	会員(上司)	所員
23	県央	佐藤 朋子	T'Design(株)	なし		再入会
24	賛助会	(株)大貫測量設計		若林 純也	賛助会代表幹事	企業
25	賛助会	(株)ティーエムユニオン		若林 純也	賛助会代表幹事	企業

令和7年度 新入会員の一覧【正会員 23名 + 賛助会員 9社】						
No	支部名	氏名	勤務先	紹介者	紹介者の役職	備考
1	県庁	荘司 泰久	(一財)茨城県建築センター	柴 和伸	会長	社員
2	賛助会	茨城県鉄構工業協同組合		柴 和伸	会長	関係団体
3	賛助会	茨城県塗装工業組合		柴 和伸	会長	関係団体
4	賛助会	(公社)日本建築家協会		柴 和伸	会長	関係団体
5	筑波	竹田 陽市	(株)相澤建築設計事務所	相澤 晴夫	副会長	所員
6	筑波	山形 郁夫	(株)相澤建築設計事務所	相澤 晴夫	副会長	所員
7	筑波	矢口 重文	茨城セキスイハイム(株)	相澤 晴夫	副会長	社員
8	筑波	長瀬 光昭	茨城セキスイハイム(株)	相澤 晴夫	副会長	社員
9	筑波	松本 浩司	坂東市役所	相澤 晴夫	副会長	職員
10	筑西	山中 陽子	(有)アーキテック	中山 和朗	常務理事	知人
11	県央	高島 浩司	(株)戸頃建築設計事務所	小川 憲一	総務委員長	所員
12	県央	櫻井 郁美	SaCRAFT建築設計事務所	石黒 洋子	総務委員	知人
13	県央	関 勇太	KITAI建築設計事務所	石井 邦明	研修委員	知人
14	県央	四ツ倉 昌佳	鈴縫工業(株)	和田 淳一	会員委員会	社員
15	鹿島	久米 健一	(株)高正建設	高橋 文男	まちづくり委員	社員
16	県央	平戸 豊	(株)石川建築研究所	石川 啓司	支部常務	所員
17	県央	大橋 美幸	果実建築設計室	滑川 浩一	相談役	取引事務所
18	県庁	萩元 悠文	(株)安心確認検査機構	舞木 善郎	安心確認の役員	社員
19	石岡	古木 いずみ	古木建設	三輪 清司	支部長	取引会社
20	石岡	小田 邦江	(有)ナオエ総合設計	菊池 直衛	元副支部長	所員
21	土浦	井坂 公一	(株)インフィート一級建築士事務	永井 昭夫	支部長	知人
22	土浦	児玉 理文	あや設計 一級建築士事務	石坂 健一	元支部長	取引事務所
23	筑波	戸塚 かおり	(株)安心確認検査機構	若柳 綾子	ヘリテージ	取引事務所
24	筑波	加藤 侑	(株)若柳建築事務所	若柳 綾子	ヘリテージ	所員
25	日立	櫻岡 佳太	(株)白土工務店	先輩と交代	先輩	社員
26	竜ヶ崎	柳町 龍哉	(株)柳建設	先輩と交代	先輩	社員
27	賛助会	コマツ茨城(株)		会員委員会 清水 洋一様		企業
28	賛助会	(株)タナカ 住宅資材部門 茨城支店		潮田 充様(元常務理事・元支部長)		企業
29	賛助会	(株)テクニティ		賛助会 代表幹事 若林様		企業
30	賛助会	(株)関川畳店		賛助会 代表幹事 若林様		企業
31	賛助会	昭和工機(株)		設備設計協会の会員		企業
32	賛助会	宇賀神電機(株)茨城営業所		設備設計協会の会員		企業

賛助会員の内、主な団体・学校など(御参考)

N o	過去 入会 済み	R 6 年度～ 入会案内 ㊦ 済み ㊦	状況
1	(一財)茨城県建設技術公社	(一社)茨城県建設業協会	入会済み
2	(一財)茨城県建築センター	(公社)日本建築家協会茨城地域会	入会済み
3	(一社)損害鑑定支援協会	(一社)茨城県解体工事業協会	入会済み
4	茨城県板金工業組合	茨城県塗装工業組合	入会済み
5	茨城県鉄筋業協同組合	茨城県鐵構工業協同組合	入会済み
6	茨城県林業種苗協同組合	(一社)茨城県建築士事務所協会	
7	茨城県瓦工事業組合	(一社)日本建築学会 茨城支所	
8	茨城県木材協同組合連合会	(一社)茨城県設備設計事務所協会	
9	茨城県ガス協会	(一社)茨城県空調衛生工事業協会	
10	筑波研究学園専門学校	(一社)茨城県貯水槽維持管理協会	
11	文化デザイナー学院	(一社)茨城県電設業協会	
12	水戸日建工科専門学校	(公社)茨城県水質保全協会	
13	日建学院	(公社)茨城県測量建設コンサルタント協会	
14	総合資格学院	(公社)茨城県宅地建物業取引協会	
		(一社)日本建築構造技術者協会 茨城	

会員数の増減 比較（H10年と、R8年7月の比較）

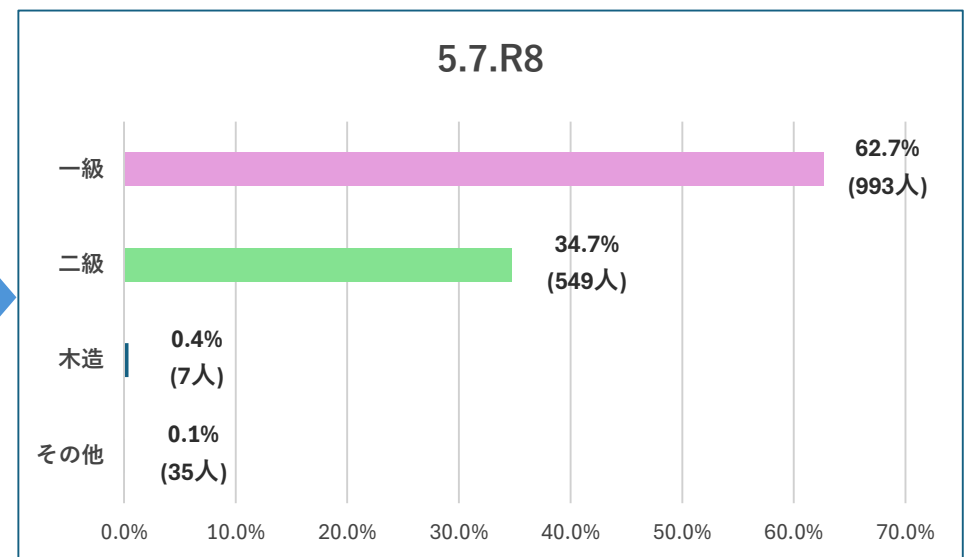
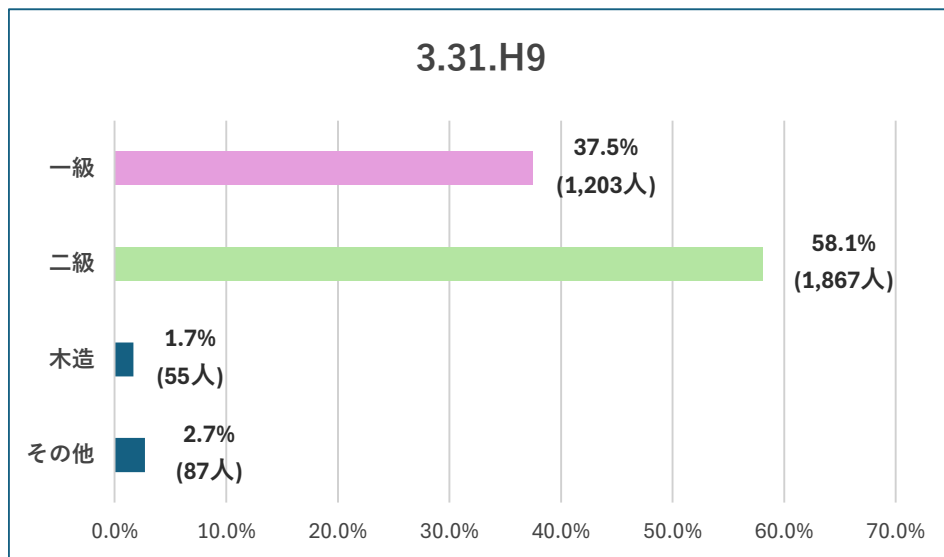
会員数					
順位	士会名	H10年末	士会名	支部数	R8年7月
1	東京	8,510	東京	12	4,210
2	北海道	7,843	北海道	34	3,208
3	愛知	7,350	愛知	21	2,910
4	大阪	7,005	大阪	—	2,040
5	長野	4,545	神奈川	9	1,932
6	神奈川	4,220	福岡	14	1,915
7	新潟	3,943	長野	14	1,807
8	福島	3,534	鹿児島	13	1,600
9	山口	3,500	茨城	23	1,558
10	兵庫	3,364	広島	7	1,540
11	広島	3,280	山口	13	1,467
12	千葉	3,268	千葉	21	1,458
13	静岡	3,214	新潟	15	1,370
14	群馬	3,208	愛媛	10	1,340
15	茨城	3,185	和歌山	9	1,180
16	福岡	3,175	香川	5	1,170
17	鹿児島	2,964	兵庫	14	1,167
18	岩手	2,752	岩手	13	1,143
19	富山	2,660	埼玉	14	1,133
20	宮城	2,620	福島	17	1,123
21	秋田	2,463	熊本	13	1,120
22	愛媛	2,462	石川	11	1,099
23	京都	2,426	岡山	11	1,076
24	岡山	2,400	島根	11	1,070
25	熊本	2,380	京都	8	1,083
26	埼玉	2,370	栃木	12	1,035
27	栃木	2,307	群馬	12	1,036
28	石川	2,248	大分	14	999
29	香川	2,105	富山	8	986
30	徳島	2,074	静岡	不明	985
31	大分	2,042	秋田	8	885
32	宮崎	2,024	徳島	9	869
33	長崎	1,999	山梨	10	845
34	岐阜	1,940	長崎	10	842
35	島根	1,900	佐賀	11	852
36	青森	1,729	岐阜	8	823
37	福井	1,710	宮崎	10	832
38	鳥取	1,627	青森	10	811
39	山形	1,593	沖縄	15	792
40	奈良	1,571	高知	14	785
41	滋賀	1,557	福井	8	766
42	山梨	1,521	山形	9	768
43	三重	1,482	三重	10	670
44	和歌山	1,465	滋賀	8	631
45	高知	1,411	宮城	14	603
46	佐賀	1,376	奈良	10	625
47	沖縄	1,060	鳥取	3	570
合計		135,382			58,729

建築士数					
順位	士会名	合計	H27.3月	R6.5月	
		建築士 計	一級	二級	木造
1	東京都	164,148	71,116	92,389	643
2	大阪府	90,869	30,787	59,318	764
3	神奈川県	67,886	29,432	37,948	506
4	愛知県	62,094	20,474	40,132	1,488
5	埼玉県	54,064	19,089	34,629	346
6	北海道	51,642	12,457	38,560	625
7	兵庫県	49,879	16,629	32,538	712
8	福岡県	46,376	14,036	31,939	401
9	千葉県	42,812	17,201	25,149	462
10	京都府	32,380	7,469	21,236	3,675
11	静岡県	30,752	7,993	22,119	640
12	広島県	29,032	9,584	18,946	502
13	新潟県	25,565	5,251	19,720	594
14	宮城県	21,646	5,765	15,349	532
15	長野県	20,780	4,796	15,518	466
16	茨城県	19,907	4,724	14,929	254
17	群馬県	17,466	4,192	12,984	290
18	福島県	16,943	3,001	13,716	226
19	岐阜県	16,610	4,582	11,577	451
20	岡山県	16,334	3,861	12,380	93
21	熊本県	14,920	3,488	11,137	295
22	石川県	14,645	3,381	10,951	313
23	山口県	14,059	3,525	10,342	192
24	滋賀県	13,328	3,073	9,825	430
25	富山県	13,144	2,747	10,012	385
26	栃木県	13,139	3,136	9,875	128
27	三重県	13,086	3,449	9,248	389
28	愛媛県	12,707	2,827	9,738	142
29	山形県	12,410	2,012	10,218	180
30	鹿児島県	11,993	3,168	8,603	222
31	奈良県	11,965	3,807	7,854	304
32	秋田県	11,550	1,665	9,662	223
33	香川県	11,356	2,826	8,381	149
34	岩手県	11,243	2,016	9,061	166
35	長崎県	11,124	2,392	8,493	239
36	大分県	10,926	2,739	8,083	104
37	宮崎県	10,831	2,354	8,170	307
38	福井県	10,335	2,303	7,926	106
39	青森県	10,162	1,908	8,048	206
40	沖縄県	8,844	2,255	6,581	8
41	徳島県	8,652	1,772	6,802	78
42	和歌山県	8,263	1,830	6,328	105
43	島根県	8,162	1,818	6,106	238
44	高知県	7,500	1,482	5,931	87
45	山梨県	7,159	1,601	5,490	68
46	佐賀県	6,741	1,594	5,009	138
47	鳥取県	5,671	1,276	4,262	133
	合計	1,171,100	358,883	793,212	19,005
		R7.4月	383,923		
		H27.3月より	+ 25,040		
		R7.4月合計 1,196,140 ← 約 120万人			

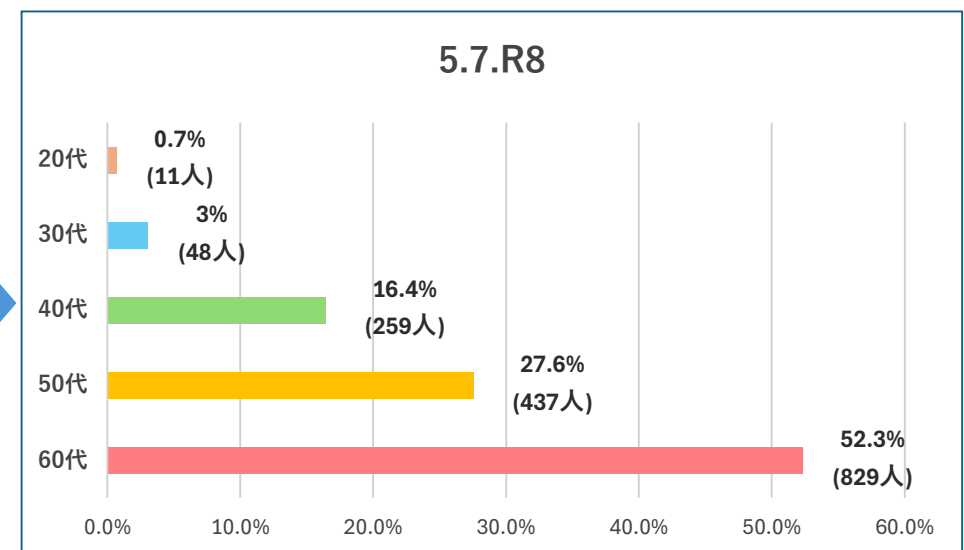
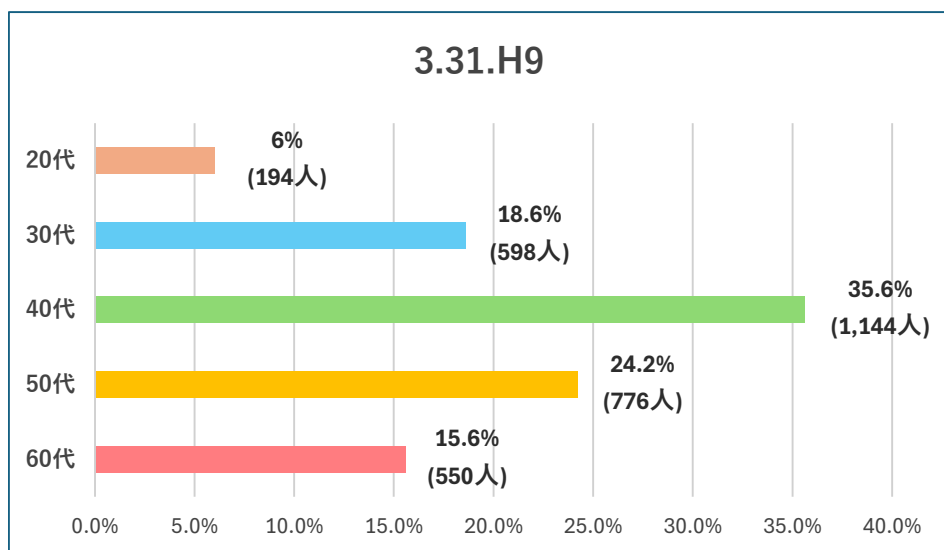
		平成9年3月31日		令和7年10月15日		令和8年5月7日			
級別	一 級	1,203	37.5%	1,017	62.4%	993	62.7%		
	二 級	1,867	58.1%	570	34.9%	549	34.7%		
	木 造	55	1.7%	7	0.4%	7	0.4%		
	その他	87	2.7%	37	0.1%	35	0.1%		
計		3,212	100.0%	1,631	100%	1,584	100%		
		平成9年3月31日		令和7年10月15日		令和8年5月7日			
年齢別	20歳代	194	6.0%	11	0.7%	11	0.7%		
	30歳代	598	18.6%	52	3.2%	48	3.0%		
	40歳代	1,144	35.6%	276	16.9%	259	16.4%		
	50歳代	776	24.2%	423	25.9%	437	27.6%	内、50才～54才	233名（ 53.3%）
	60歳以上	500	15.6%	869	53.3%	829	52.3%		
計		3,212	100.0%	1,631	100%	1,584	100%		
				女性 151名 9.2%		女性 148名 9.3%			
				60歳台・・・454名（ 27.8 % ）		60歳台・・・ 410名（ 25.9 % ）		内、60才～64才	192名 （ 46.8%）
				60歳以上のうち、 70歳台・・・362名（ 22.2 % ）		60歳以上のうち、 70歳台・・・ 368名（ 23.2 % ）		内、70才～74才	218名 （ 59.2%）
				80歳台・・・ 50名（ +9名）		80歳台・・・ 47名（ ▲3名）		内、80才～84才	33名 （ 48.9%）
				90歳台・・・ 2名（ ±0名）		90歳台・・・ 4名（ ± 2名）			

会員数の変遷

級別



年齢別



先輩から入れ!と、言われて入ってみて今役職。**横のつながりが増えたメリット**
若い人が入会しやすい環境づくり → 青年は、支部会費のみ半額(案)を検討中
若い人はすぐメリットが無いと言う → メリットがあれば入りたいと。

建築家の講演会はメリットと言う

会社で会費払うのは、違うと思う

非会員でも1,000円払えば参加できちゃう

職人会(大工等の職人) → まず準会員 → 資格取ったら正会員

交付式、合格祝賀会 → 今は開催していない

準会員 → 施工管理技士とかへ → 入会アクション

組織運営 + 支部の再編も必要 → 支部、委員会などの活動メリット(横のつながり)

会員の紹介カードの作成・リストアップ(個人情報教わる)

士会のメリット頁を教える → 成功体験も伝える

150名を越したが退会者もいる為、根性で勧誘を行っている

F.Bも発信して、活動している感じは、出せている

会費が県内で一番高いので、家族会員は約半額位にしている

支部として出来る事、委員会として出来る事。

判定士は会員じゃないと連絡すらいかない=活動もできない

会員にならないと声も掛からない

JIA + 士会 = ジャパンア-キテクト 仕事のメリット等

CPD + 登録建築課(専攻建築士) = 要件 会員になれば情報入る

士会は、大工や建設業のすそ野を広げられる

所員で見学会に参加したい = 引っ掛かりになる

いきなり会員 × → その人にとって同じ関係の人の交流 → サポート体制

どこに資格者が居るかわからないから勧誘できない → 個人情報 ×

ネット検索で調べられる。筑波支部のFB等は良い

設計者は少なくゼネコンが多い。人口減少でネット支部も検討

県士会と話をする方向性が無い。ページも仕事がない

県央支部の青年会員半額は興味はあるが、、、。

全体的に会員の少ない支部は合併するしかない

学生は設計事務所を求めている → ゼネコンや、ハウスメーカーを希望

準会員を勧誘して関係人口を増やす作戦

青年よりもシニアが大事。既に支部で実施。県レベルでやる方法!!

達人塾の勉強会を実施し、少しでも仕事が取れる・変わる制度を!!

人口減少と少子化で会員減少は必須。止まらない。そこを前提とした方策を!!!

人間関係 + 横のつながり = 最大のメリット

そのメリットを会費が高いと感じるか?、安いと感じるか? 個人差が有る

インスタで活動PRは良いキッカケづくりになると思う

講演会で勧誘出来たら良い → 会場にポスターを貼る → 士会のハードルを下げる

会員増強は、シニア会などにより退会を減らす事は素敵だと思う

家庭に埋もれる建築士を発掘することが大事

スキマの仕事 = 横のつながり → 全建女で長野の人の話:座談会〜仕事もらう等

インスタ等を利用して、デジタル会員等新しい政策を

20代の女の子にヒアリング → 視覚に訴えるものが無いと駄目

着物が一人で切れる建築士 → 勉強会を先輩の女性会員に教わる企画 = メリット

そういったメリット企画を積み重ねる → 仲良くなって → それから勧誘する戦略

色々な良い自由闊達な意見が出た。時間の都合で終わるが次回開催も検討したい

さあ、建築士会へ!!

茨城県建築士会では県内24支部および、青年・女性委員会などの各委員会において
色々な研修・セミナーや交流活動を行っています。
また、会員限定の「けんぱい」建築士賠償責任補償制度も充実しています。

Home	建築士免許申請	会員の入会メリット	書籍・保険	お役立ち情報	アクセス
------	---------	-----------	-------	--------	------



(一社) 茨城県建築士会 入会申込書

士会HP



紹介者会員					年 月 日本受付
年 月 日 入会を申し込みます。					
フリガナ氏名			性別	男 ・ 女	
生年月日	昭和 年 月 日生まれ 平成		会報誌送付先	自宅 ・ 勤務先	
現住所	〒		Eメール		
			T E L		
勤務先名称			Eメール		
勤務先住所	〒		T E L		
			F A X		
級 別	1 級 ・ 2 級 ・ 木造				
建築士免許登録番号	取得県 県 第 号		登録年月日	年 月 日	
支 部 名	支 部 長 印		会 員 種 別	正会員 ・ 準会員	
※事務局記載					
※会員番号		※顔写真		※名簿	※会報

ご注意：記載は楷書で丁寧にお願いいたします。また、顔写真1枚を添えてください。

茨城県震災建築物「応急危険度判定士」登録・認定制度のご案内

茨城県土木部都市局建築指導課

茨城県には、大地震が発生した場合に、余震等による建築物の倒壊などの二次災害防止を目的としてボランティアで建築物の判定活動をする、**応急危険度判定士**制度があります。

平成23年3月11日の東日本大震災においては、県内28市町村で、延べ929名の判定士が15,863棟の建築物を判定し、二次災害の防止に寄与しました。

現在、約1,800名の判定士が登録されており、今年度も新規登録していただける方を募集します。ぜひご協力をお願いいたします。

応急危険度判定とは

応急危険度判定は、地震により被災した建築物について、その後の余震等による倒壊の危険性や建築物の部分等の落下・転倒の危険性をできる限り速やかに判定し、その結果に基づき被災建築物の使用にあたっての危険性を情報提供することにより、被災後の二次的災害を防止することを目的としています。

判定士の認定

判定士の認定は、知事が行います。

- ・対象者は県内に在住又は在勤し、次のいずれかに該当する方です。
 - (1) 建築士法第2条第1項の建築士（1級建築士・2級建築士・木造建築士）
 - (2) 建築基準法施行規則第6条の6に規定する特定建築物調査員
（※ 法改正前の特殊建築物等調査資格者を含む。）
 - (3) 前各号に規定する者のほか、知事が認めた者
- ・認定者には判定士認定証を交付します。
- ・認定証の有効期間は5年間です。（5年ごとに更新が必要）

講習会の開催

判定士として登録するためには、県主催の講習会を受講する必要があります。

- ・日 時 令和8年9月15日（火）13:00 ～ 17:00（予定）
- ・場 所 「茨城県庁」 9階 講堂
水戸市笠原町978-6 電話 029-301-4716
- ・受講料 **無 料（テキスト代を含む）**
- ・お申込み 別紙の受講申込書に記入の上、**顔写真を添えて8月28日（金）までに**、下記、茨城県建築士会宛てにお申込みください。申込者には後日、受講券をお送りします。

※ なお、一級建築士の方で、二級・木造建築士の時に判定士の講習を受講された方は、その判定士の認定番号をお知らせ下さい。

お申込み・お問い合わせ先

〒310-0852

水戸市笠原町978-30 建築会館2階

一般社団法人 茨城県建築士会 判定士係

茨城県建築士会 Web サイト

TEL 029-305-0329

<https://ishikai.com>



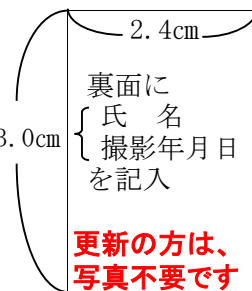
web サイト

判定士講習会受講申込書

□新規・□更新（認定番号：H・R □□ - □□□□ A・P）

※新規か更新の該当する方を○で囲み、更新の場合は認定番号を記入してください

縦3.0cm×2.4cmの**カラー写真1枚**を添付のこと（6ヶ月以内の証明写真）
（写真裏面に氏名及び撮影年月日を記載して下さい）



講習会名	茨城県震災建築物「応急危険度判定士」講習会		
受講者の区分	※ いずれかを○で囲んでください		建築士会会員の方は支部名
	茨城県建築士会会員 茨城県職員		支部
	市町村職員 その他		会 員 番 号
			□□ - □□□□
受講者氏名	ふりがな		
	昭和・平成 年 月 日生		
住所・TEL	〒 ー (TEL ー)		
建築士等 免許証番号	※ いずれかを○で囲み、免許証番号を記入してください 1級建築士（国土交通大臣 第 号） 2級建築士 県 第 号） 木造建築士 県 第 号） 特定建築物調査員（交付番号 第 号） } 2級・木造建築士の方は、 必ず交付された都道府県名 を記入してください		
勤務先名称	※（自営と記入しないで社名を記入）		
勤務先の 所在地・ TEL・FAX メールアドレス	〒 ー (TEL ー) (FAX ー) (MAIL @)		
備考			

※ 更新申請の場合は、講習会の受講を省略できます。

改正宅地建物取引業法に対応した

既存住宅状況調査技術者 講習のご案内

建築士会CPD認定プログラム

- 国土交通省の定める講習を修了した建築士のみが実施できる業務です

既存住宅状況調査（インスペクション）とは、
専門的な知識を持った建築士が

**建物の劣化や不具合の状況を
確認する調査**です

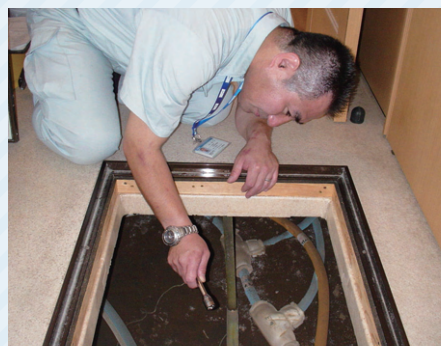
- 構造耐力上主要な部分の調査
- 雨水の浸入を防止する部分の調査
- 耐震性に関する書類の確認



室内調査



外壁調査



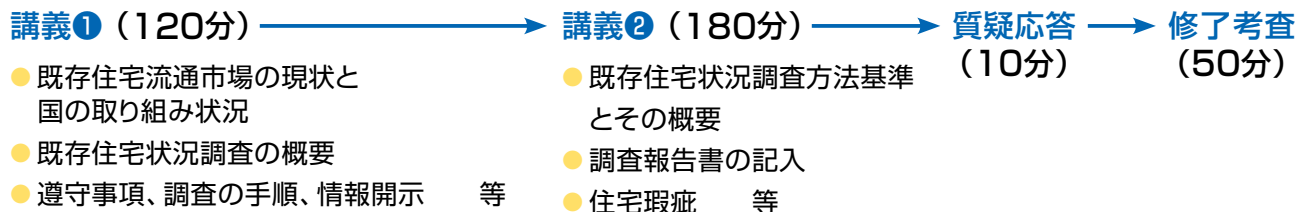
床下調査

既存住宅状況調査を行うことで安心して購入の判断ができ、
購入後の維持管理やリフォームの計画が立てやすくなります

● 建築士の資格があると既存住宅状況調査技術者講習の受講ができます

受講対象 一級建築士、二級建築士または木造建築士

受講内容



受講料 WEB申込 → 21,450円（税込） 郵送申込 → 22,000円（税込）
※テキスト・修了証明書交付費用等含む

- 長期優良住宅化リフォーム推進事業における現況検査も可能
- [フラット35] 維持保全型についても対象

● 宅地建物取引業法の改正に伴い、平成30年4月から建物状況調査等に関する措置が施行されました。

平成28年6月、宅地建物取引業法が改正され、売主・買主が安心して既存住宅の取引ができる市場環境を整備することを目的に、既存建物の取引に係る情報提供の充実に関する以下の三つの措置が講じられました。これらの措置は、平成30年4月から施行されました。但し、報酬を得て調査業務を行うことは建築士事務所に属する方のみに限られます。



日本建築士会連合会ホームページ「既存住宅状況調査技術者のご案内」はこちら
<https://www.kenchikushikai.or.jp/koshukai/kizonjyutakujoyokyochosa.html>



● 是非この機会にご受講ください



公益社団法人
TEL : 03-3456-2061

日本建築士会連合会
MAIL : info@kenchikushikai.or.jp

※既存住宅状況調査事業は、建築士の資質の向上に資する事業です。

建設業法第26条に基づく 監理技術者講習

建築士会
CPD認定
プログラム

国土交通省 登録講習機関 登録番号第12号(登録日平成27年6月22日) 公益社団法人 日本建築士会連合会 主催

オンデマンド講習のご案内

各月に1ヶ月間の受講期間を設定。お期間内にご自身のタイミングで受講可能。

・申込方法 WEB 申込みのみ 詳しくは日本建築士会連合会の HP をご確認ください。

開催期間	申込み期間	受講料
各月 1日～30日まで	申込み月の前月の17or18日まで (9月に申込みの場合、 8月18日(火)まで)	WEB 申込みのみ 9,500 円 (テキスト代・消費税込)

令和3年の法改正により令和3年10月1日受講の場合は ⇒ 令和8年12月31日までに受講すれば良いこととなりました!!

改正前

改正後

受講日
R3年10月1日
の場合

R4 R5 R6 R7 R8 受講期限
令和8年9月30日までに受講

変更

令和8年12月31日までに受講

監理技術者講習とは
建設業法第26条第2項の規定により、元請負の特定建設業者が該当工事を施工するために締結した下請負契約の請負金額総額が5,000万円以上(建築一式工事の場合は8,000万円以上)の工事には監理技術者を専任で配置することが義務付けられています。そして監理技術者として建設工事に携わる方は監理技術者講習を受講しなければなりません。日本建築士会連合会では、国土交通省から同講習の登録講習機関として登録を受け監理技術者講習を実施します。令和3年1月1日に改正施行した建設業法施行規則「監理技術者講習の有効期間の変更」にも対応しており、本会の監理技術者講習は法定講習であると同時に、建築士会 CPD 認定研修でもあります。

設計者の方々も建築施工の知識を得るために、この機会にぜひ、積極的なご受講をお願いします。

設計者側として知っておくべき、施工者・建築工事従事者側で現場の学習をすることで実務に役立てます。また杭問題などの時事問題や最新技術や材料を学べて、しかも、CPD 単位が6単位つきます。

対象者 全ての分野の監理技術者または、建築施工の学習を目的とする方全て

建築士会の監理技術者講習の特色

特色1 建築工事に特化した講義内容と充実したテキスト

他の登録講習機関の同講習は建築、土木ほか一体の講義内容ですが、本会では「建築工事に特化した講義内容」と現役ゼネコン第一人者、学識経験者の執筆による実務に役立つテキストを使用します。

したがって特に「建築工事の分野で活躍されている監理技術者」にとりましては充実した講習となります。

★安心してください。土木系の監理技術者が受講された場合でも、監理技術者講習修了履歴ラベルが交付されます。

特色2 公共工事入札等での加点*となる建築士会 CPD 単位が取得できます！

本会の講習修了者は CPD 単位6単位が取得できます。

2022年4月調べ、45道府県、47市、2町、内閣府、国土交通省、他団体の工事入札、入札参加資格審査等において建築士会の CPD 実績証明書*が加点等に活用されています。

特色3 さらに WEB でも CPD 単位が追加取得できます！

本会の講習修了者は上記の CPD6 単位の他、受講者専用マイページにログインし、WEB 上で CPD 問題に解答・正答することでさらに建築士会の CPD 単位が年間最大 18 単位取得できます。

*建築士会の CPD 制度への参加が必要です。また、CPD 実績に対する加点評価の扱いは行政機関により違いがあります。

お申し込み・お問い合わせ先

公益社団法人 日本建築士会連合会

〒105-0014 東京都港区芝 5-26-20 TEL:03-3456-2061E- メール:kanri@kenchikushikai.or.jp



地域材利用のモデルとなる
木造住宅の支援をします

いばらきの木で家をたてよう

いばらぎ 木づかいチャレンジ (住宅用木材生産・流通体制の構築) 2026

●補助額：

1チーム20万円/戸
(1チームあたり20戸上限)

●募集期間：

令和8年8月31日まで必着

●補助要件：

裏面を参照して下さい。

茨城の木 の家に、 誇りに。

内容
一新！

いばらき地域適合型住宅コンペ

～ IBARAKI WOODEN HOUSING AWARD 2026 ～

- 受賞プレート授与
- 作品集掲載
- 展示・メディア紹介

募集開始：8月3日(月)

締切：10月30日(金)

営業にも活きる“公的評価”を

募集概要

募集部門 5つの応募部門 重複応募可

●応募対象

2022年1月1日から2026年3月31日に竣工した木造住宅
(新築、増改築、リフォーム可)

●応募資格

茨城県内に主たる事務所を有する設計事務所及び茨城県内に主たる事務所を有する工事施行者の組合せ
※同一事業者が「設計」と「施工」を兼ねる場合は1社で応募可

●応募費用無料

●応募方法

電子メール、郵送又は持参



新築部門
新築木造住宅



リフォーム部門



若手チャレンジ部門
(40歳以下・独立10年以下)



コスト配慮型住宅部門
(坪単価80万円以下＋一定性能)



ビジュアル特化部門
写真1枚から応募可
※イベントでの一般選考を実施

詳細

エントリーはこちら



主催：茨城県木材協同組合連合会